



## 校長室だより

2026年6月16日  
丹波市立進修小学校長

### 修学旅行で見た子どもたちの成長

6月11、12日と6年生が1泊2日の修学旅行を終え、全員元気に帰ってくることができました。

修学旅行は、学習指導要領において「遠足・集団宿泊的行事」として位置付けられています。歴史や文化に触れて見聞を広げるとともに、仲間と協力しながら集団生活を送り、社会性や責任感を育む大切な学びの機会です。

今回の修学旅行では、こういった教育的なめあても達成すると同時に、子どもたちのたくさんの成長と素敵な姿を見ることができました。集団としては、時間を守って行動し、集合時刻に遅れることなく集まることができました。また、ガイドさんや先生の話をしっかり聞き、時には反応しながら話を盛り上げる姿に感心しました。学校の代表として立派な態度で過ごしていたことをうれしく思います。

班別学習では、一人一人のよさが輝いていました。計画通りに進めようとリーダーシップを発揮する子、友だちの様子を気にかけて優しく声を掛ける子、時間を意識して班のみんなに知らせる子など、それぞれが自分の役割を果たしながら活動していました。見学先でも、多くの学びがありました。法隆寺や奈良の大仏、金閣寺、清水寺などの歴史的建造物を目の前にして、その大きさや美しさに感動する子どもたちの姿がありました。また、「どうしてこんな建物をつくったのだろう」「何年前から残っているのだろう」と興味をもち、自分から質問する姿も見られました。





奈良公園では鹿とふれあいながら鹿せんべいをあげたり、国内外から訪れているたくさんの観光客の姿に驚いたりしながら、世界遺産の価値や日本の文化の魅力を肌で感じていました。

大路小学校と連合で出かけたのもよい交流ができました。もうすぐ同じ中学校に通います。お互いのことを知り、友だちになった子もいます。中学校へ進学する安心感ができました。



旅館での時間も、子どもたちにとって大切な思い出になったことでしょう。友だちと一緒にカードゲームをしたり、お菓子を食べながら笑い合ったりする姿からは、仲間と過ごす時間を心から楽しんでいる様子が伝わってきました。お土産を買う場面では、「お母さんにはこれがいいかな」「弟が喜びそうだな」と、家族一人一人の顔を思い浮かべながら選んでいる姿も印象的でした。子どもたちの優しさや思いやりを感じる場面でした。

修学旅行中、私は普段の学校生活だけではなかなか見ることのできない、一人一人の素敵な一面をたくさん見つけることができました。そして何より、帰校した子どもたちが「楽しかった！」と笑顔で話してくれたことが、一番うれしく、心に残っています。

この2日間で深まった友だちとの絆や、仲間と協力してやり遂げた経験は、これからの学校生活の大きな力になるはずです。6年生には、それぞれの強みを生かしながら、学校のリーダーとして全校生をまとめ、残りの小学校生活をさらに充実したものにしてくれることを期待しています。

最後になりましたが、保護者の皆様には、事前の準備や健康管理など、多くのご協力をいただきました。おかげをもちまして、充実した修学旅行を実施することができました。心より感謝申し上げます。ありがとうございました。

